

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

1998年 9月14日

出 願 番 号

Application Number:

平成10年特許願第259735号

出 願 人

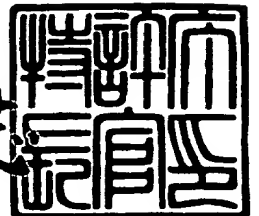
Applicant (s):

ソニー株式会社

1999年 7月 8日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

伴佐山 建志



出証番号 出証特平11-3048330

【書類名】 特許願

【整理番号】 9800833703

【提出日】 平成10年 9月14日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04L 12/40

【発明の名称】 情報処理装置および方法、並びに提供媒体

【請求項の数】 6

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社
内

 【氏名】 堀口 麻里

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社
内

 【氏名】 山本 和夫

【特許出願人】

 【識別番号】 000002185

 【氏名又は名称】 ソニー株式会社

 【代表者】 出井 伸之

【代理人】

 【識別番号】 100082131

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 稲本 義雄

 【電話番号】 03-3369-6479

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 032089

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9708842

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 情報処理装置および方法、並びに提供媒体

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ネットワークを介して接続されているユニットを制御する情報処理装置において、

他の情報処理装置が前記ユニットを制御するイベントの情報を他の情報処理装置から読み取る読取手段と、

入力されたイベントの情報と前記読み取り手段が読み取った他の情報処理装置のイベントの情報を比較する比較手段と、

前記比較手段の比較結果に対応して、前記入力されたイベントの情報を自己のスケジュールアクションサブユニットの所定の位置に記録する記録手段とを備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】 前記ネットワークは、IEEE1394シリアルデータバスを用いて構成される

ことを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】 前記イベントの情報は、前記ユニットを特定する情報、および前記イベントの時刻情報である

ことを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項4】 前記記録手段は、前記入力されたイベントの情報を前記ユニットのスケジュールアクションサブユニットの所定の位置に記録し、

前記読取手段は、前記他の情報処理装置が前記ユニットを制御するイベントの情報を前記ユニットから読み取る

ことを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項5】 ネットワークを介して接続されているユニットを制御する情報処理装置の情報処理方法において、

他の情報処理装置が前記ユニットを制御するイベントの情報を他の情報処理装置から読み取る読取ステップと、

入力されたイベントの情報と前記読み取り手段が読み取った他の情報処理装置のイベントの情報を比較する比較ステップと、

前記比較ステップの比較結果に対応して、前記入力されたイベントの情報を自己のスケジュールアクションサブユニットの所定の位置に記録する記録ステップと

を含むことを特徴とする情報処理方法。

【請求項 6】 ネットワークを介して接続されているユニットを制御する情報処理装置に、

他の情報処理装置が前記ユニットを制御するイベントの情報を他の情報処理装置から読み取る読取ステップと、

入力されたイベントの情報と前記読み取り手段が読み取った他の情報処理装置のイベントの情報を比較する比較ステップと、

前記比較ステップの比較結果に対応して、前記入力されたイベントの情報を自己のスケジュールアクションサブユニットの所定の位置に記録する記録ステップと

を含む処理を実行させるコンピュータが読み取り可能なプログラムを提供することを特徴とする提供媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、情報処理装置および方法、並びに提供媒体に関し、特に、IEEE1394シリアルデータバスを介して接続されたユニットを制御する情報処理装置および方法、並びに提供媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】

IEEE1394シリアルデータバスを用いたネットワークを介して、相互に情報を伝達することができるAV機器が開発されている。このネットワークにおいては、所定のコマンド(AV/C Command Transaction Set)を用いることにより、ネットワークに接続されているAV機器を制御することが可能である。例えば、図6に示すように、デジタル衛星放送を受信するIRD(Integrated Receiver Decoder)51で受信した映像を、IEEE1394シリアルデータバス2（以下、バス2と記述する）を介

して接続されているDVCR(Digital Video Cassette Recorder) 61で録画することが可能である。さらに、IRD 51およびDVCR 61を用いて、いわゆる録画予約を行うことが可能である。

【0003】

この録画予約の処理においては、IRD 51のコントローラ 52が、IRD 51およびDVCR 61を制御している。すなわち、録画予約の設定（チャンネル、および録画開始時刻等）はIRD 51に対して行われ、設定された録画開始時刻になると、IRD 51のコントローラ 52は、デジタルチューナ 53に、予約されている（設定されている）チャンネルを選局させて、受信した映像信号をバス 2を介してDVCR 61に出力させる。また同時に、コントローラ 52は、バス 2を介してDVCR 61のレコーダ 64に録画開始のコマンドを送信する。DVCR 61のレコーダ 64は、コントローラ 52から送信された録画開始コマンドに対応して、デジタルチューナ 53からの映像信号を磁気テープに記録する。

【0004】

ところで上述したように、DVCR 61の動作を、バス 2を介して接続されている他の機器（いまの例の場合、IRD 51）から制御することが可能である場合、いわゆるダブルブッキングが生ずる可能性がある。

【0005】

例えば、デジタル衛星放送の録画予約（録画予約A）をIRD 51に入力すると、その予約情報は、IRD 51のコントローラ 52に記憶される。その後、録画予約Aの録画時刻に重複する時刻において放送される地上アナログ放送の録画予約（録画予約B）をDVCR 61に入力した場合、DVCR 61のコントローラ 62は、IRD 51に入力された録画予約Aに関する情報を得ていないので、録画予約Bを受け付けて記憶してしまう。したがって、録画予約Aおよび録画予約Bで重複する時刻になると、DVCR 61のレコーダ 64には、IRD 51のデジタルチューナ 53、およびDVCR 61のアナログチューナ 63の両方から映像信号が供給される不都合が生じてしまう。

【0006】

この不都合は、バス 2を介して接続されているAV機器が、他のAV機器が管理す

る予約情報等を入手できないことに起因している。

【0007】

そこで、上述した不都合を解決するため、DVCR 61には、IRD 51のコントローラ 52による制御だけに従い、録画待機状態となるCSモードというモードが設けられており、IRD 51に録画予約Aを入力した後、DVCR 61をCSモードに設定することでダブルブッキングの発生を防止していた。

【0008】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、CSモードに設定されたDVCR 61は、予約待機状態となってしまうので、例えば、映像信号の再生等の処理を実行できず、操作性が悪い課題があった。

【0009】

また、複数のAV機器が、他のAV機器が管理する情報（録画開始時刻等）を知らないことに起因して、同時にバス2に情報を出力した場合、出力された情報量がバス2の帯域を越えて、伝送エラーが発生する可能性がある課題があった。

【0010】

本発明はこのような状況に鑑みてなされたものであり、バスに接続されている各AV機器が、管理している情報を相互に検索することにより、録画予約時の操作性を向上させるとともに、ダブルブッキングの発生を抑止することができるようにするものである。

【0011】

【課題を解決するための手段】

請求項1に記載の情報処理装置は、他の情報処理装置がユニットを制御するイベントの情報を他の情報処理装置から読み取る読取手段と、入力されたイベントの情報と読み取り手段が読み取った他の情報処理装置のイベントの情報を比較する比較手段と、比較手段の比較結果に対応して、入力されたイベントの情報を自己のスケジュールアクションサブユニットの所定の位置に記録する記録手段とを備えることを特徴とする。

【0012】

請求項5に記載の情報処理方法は、他の情報処理装置がユニットを制御するイベントの情報を他の情報処理装置から読み取る読取ステップと、入力されたイベントの情報と読み取り手段が読み取った他の情報処理装置のイベントの情報を比較する比較ステップと、比較ステップの比較結果に対応して、入力されたイベントの情報を自己のスケジュールアクションサブユニットの所定の位置に記録する記録ステップとを含むことを特徴とする。

【0013】

請求項6に記載の提供媒体は、他の情報処理装置がユニットを制御するイベントの情報を他の情報処理装置から読み取る読取ステップと、入力されたイベントの情報と読み取り手段が読み取った他の情報処理装置のイベントの情報を比較する比較ステップと、比較ステップの比較結果に対応して、入力されたイベントの情報を自己のスケジュールアクションサブユニットの所定の位置に記録する記録ステップとを含む処理を情報処理装置に実行させるコンピュータが読み取り可能なプログラムを提供することを特徴とする。

【0014】

請求項1に記載の情報処理装置においては、読取手段が、他の情報処理装置がユニットを制御するイベントの情報を他の情報処理装置から読み取り、比較手段が、入力されたイベントの情報と読み取り手段が読み取った他の情報処理装置のイベントの情報を比較し、記録手段が、比較手段の比較結果に対応して、入力されたイベントの情報を自己のスケジュールアクションサブユニットの所定の位置に記録する。

【0015】

請求項5に記載の情報処理方法、および請求項6に記載の提供媒体においては、読み取りステップで、他の情報処理装置がユニットを制御するイベントの情報を他の情報処理装置から読み取り、比較ステップで、入力されたイベントの情報と読み取りステップで読み取った他の情報処理装置のイベントの情報を比較し、記録ステップで、比較ステップの比較結果に対応して、入力されたイベントの情報を自己のスケジュールアクションサブユニットの所定の位置に記録する。

【0016】

【発明の実施の形態】

以下に本発明の実施の形態を説明するが、特許請求の範囲に記載の発明の各手段と以下の実施の形態との対応関係を明らかにするために、各手段の後の括弧内に、対応する実施の形態（但し一例）を付加して本発明の特徴を記述すると、次のようになる。但し勿論この記載は、各手段を記載したものに限定することを意味するものではない。

【0017】

請求項1に記載の情報処理装置は、他の情報処理装置がユニットを制御するイベントの情報を他の情報処理装置から読み取る読取手段（例えば、図3のステップS2）と、入力されたイベントの情報と読み取り手段が読み取った他の情報処理装置のイベントの情報を比較する比較手段（例えば、図3のステップS3）と、比較手段の比較結果に対応して、入力されたイベントの情報を自己のスケジュールアクションサブユニットの所定の位置に記録する記録手段（例えば、図3のステップS7）とを備えることを特徴とする。

【0018】

本発明を適用したネットワークシステムの構成例について、図1を参照して説明する。なお、本明細書においてシステムの用語は、複数の装置、手段などにより構成される全体的な装置を意味するものである。

【0019】

このネットワークシステムは、バス2を介して接続されているIRD1およびDVCR3から構成されている。当然、このバス2にはIRD1およびDVCR3以外に、例えば、パーソナルコンピュータ、CDプレーヤ、またはMD（商標）プレーヤ等のIEEE 1394端子を備える電子機器を接続することが可能である。

【0020】

なお、バス2に接続されているIRD1およびDVCR3のような電子機器は、ユニットと呼ばれており、ユニット間においては、AV/C Command Transaction SetのAV/C Digital Interface Command Set General Specification（以下、AV/Cと記述する）で規定されているデスクリプタ(Descriptor)を用いて、各ユニットに記

憶されている情報を相互に読み書きすることが可能である。AV/Cの詳細については、<http://cxn02.net.arch.sony.co.jp/Doc/>に公開されている。また、ユニットが有する機能はサブユニットと呼ばれている。

【0021】

IRD1のコントローラ11は、ユーザからの選局操作や録画予約操作等を受け付けて、IRD1の全体を制御するようになされている。また、コントローラ11は、所定のコマンド(AV/C Command Transaction Set)を用いてDVCR3を制御するようになされている。CSアンテナ13は、図示せぬ通信衛星を介して送信されているデジタル衛星放送のデジタル信号を受信してデジタルチューナ12に出力する。デジタルチューナ12は、コントローラ11の制御に基づいて、CSアンテナ13から入力されたデジタル信号から所定のチャンネルの信号を抽出し、バス2を介してDVCR3のレコーダ33に出力する。さらに、コントローラ11は、DVCR3のスケジュールアクション(以下、SAと記述する)34が記憶している情報を検索するようになされている。

【0022】

IRD1のサブユニットであるスケジュールアクション14は、コントローラ11が受け付けて、確定した録画予約の情報(詳細は、図2を参照して後述する)を記憶するようになされている。

【0023】

DVCR3のコントローラ31は、ユーザからの再生指示の操作や録画予約操作等を受け付けて、DVCR3の全体を制御するようになされている。アナログチューナ32は、コントローラ31の制御に基づいて、入力されるアナログ信号から所定のチャンネルの信号を抽出し、レコーダ33に出力するようになされている。

【0024】

レコーダ33は、アナログチューナ32から入力された映像信号、またはバス2を介してIRD1のデジタルチューナ12から入力された映像信号を図示せぬ磁気テープに記録するようになされている。

【0025】

DVCR3のサブユニットであるSA34は、DVCR3に関わる録画予約の情報を管理

するようになされている。

【0026】

このネットワークシステムにおいて、録画予約を行う場合、ユーザはIRD1に対して録画予約の設定（チャンネル、および録画開始時刻等）を入力する。そして、その録画予約がダブルブッキングではない場合、入力された録画予約が認められて、その情報がIRD1のSA14のSA Descriptorに書き込まれる。

【0027】

図2は、IRD1のSA14のSA Descriptorのディレクトリ構造を示している。SA Descriptorは、複数の予約情報(SA Event#i)からなるRoot SA Eventリスト、およびユニット内で登録されたマクロコマンド#iを管理するテーブルであるRootマクロコマンドリストで構成される。

【0028】

予約情報(SA Event#i)は、SA Event ID、時刻情報、関連ユニット情報、コネクション情報、トリガ情報、段階別コマンド情報、およびユーザ情報から構成される。SA Event IDには、ネットワーク内または関連するユニット内において、その予約情報を一意に識別できるIDが記述されている。時刻情報には、準備時間、録画開始時刻、および録画終了時刻等が記述されている。関連ユニット情報には、予約に関連するユニット（いまの場合、DVCR3）のNode Unique ID（ユニット固有のIDであり、バスリセット毎に変更するNode IDではない）、SubunitType、およびSubunit IDが記述されている。コネクション情報には、バス2の使用帯域、およびプラグ等の情報が記述されている。トリガ情報には、トリガの種類（時間、またはメッセージ等）が記述されている。段階別コマンド情報には、各段階（準備段階、開始段階、および終了段階）において実行するマクロコマンドが記述されている。ユーザ情報には、ラベル等が記述されている。

【0029】

マクロコマンド#iは、マクロコマンドリスト#iへのポインタ、マクロコマンド#i識別子、およびユーザラベルから構成される。マクロコマンドリスト#iへのポインタが示すマクロコマンドリスト#iには、実行するAV/CコマンドとNode Unique IDが対で記述されている。Subfunctionには、そのコマンド群の動作を規定す

る情報（例えば、エラー発生が発生した場合、中止する、または、最後まで強制実行する等）が記述されている。

【0030】

次に、このネットワークシステムの競合ユニット検索処理について、図3のフローチャートを参照して説明する。この処理は、ユーザがIRD1に対して、DVCR3を用いる録画予約の操作を入力し、その操作がコントローラ11に検知されたときに開始される。ステップS1において、コントローラ11は、バス2に接続されている全てのユニットのうちの1つを選択する。

【0031】

ステップS2において、コントローラ11は、ステップS1で選択したユニットのSAが記憶しているSA DescriptorのRoot SA Eventリストから予約情報(SA Event)を1つだけ選択して読み出す。ステップS3において、コントローラ11は、ステップS2で読み出したSA Eventの関連ユニット情報を参照し、そこに記述されているNode Unique ID, SubunitType、およびSubunit IDがDVCR3に対応するものであるか否かを判定し、対応するものであると判定された場合、ステップS4に進む。ステップS4において、コントローラ11は、ステップS2で読み出したSA Eventの時刻情報を参照し、そこに記述されている録画時刻が、ユーザから入力された録画予約の時刻と重複するか否かを判定し、重複しないと判定した場合、ステップS5に進む。

【0032】

ステップS3において、関連ユニット情報に記述されているNode Unique ID, SubunitType、およびSubunit IDがDVCR3に対応するものではないと判定された場合、ステップS4はスキップされる。

【0033】

ステップS5において、コントローラ11は、ステップS1で選択したユニットのSA DescriptorのRoot SA Eventリストに記述されている全てのSA EventをステップS2で選択したか否かを判定し、全てのSA Eventを選択したと判定するまで、ステップS2乃至S5の処理を繰り返す。

【0034】

ステップS5で、全てのSA Eventを選択したと判定された場合、ステップS6において、コントローラ11は、バス2に接続されている全てのユニットを、ステップS1で選択したか否かを判定し、全てのユニットを選択したと判定するまで、ステップS1乃至S6の処理を繰り返す。

【0035】

ステップS6で、全てのユニットを選択したと判定された場合、ステップS7において、コントローラ11は、入力された録画予約が競合しない（ダブルブッキングとはならない）と判断して、入力された録画予約の情報をSA14に記憶させる。

【0036】

ステップS4において、ステップS2で読み出したSA Eventの時刻情報に記述されている録画時刻が、ユーザから入力された録画予約の時刻と重複すると判定された場合、ステップS8に進む。

【0037】

ステップS8において、コントローラ11は、入力された録画予約が競合する（ダブルブッキングになる）と判断し、その情報を所定の方法でユーザに通知する。

【0038】

例えば、重複する録画予約をユーザに提示して、選択を求めるようにしてもよい。また、重複する時刻において、録画予約が行われていない他のDVCRを検索し、ユーザに提示するようにしてもよい。

【0039】

なお、確定した録画予約の情報を、IRD1のSA14、および関連ユニットであるDVCR3のSA34に書き込むようにすれば、ステップS1で選択するユニットは関連ユニットであるDVCR3だけでよい。

【0040】

また、ステップS3、またはステップS4の処理と同時に、SA Eventのコネクション情報を読み出せば、バス2の帯域の使用予約状況を把握することが可能と

なる。

【0041】

このように、各ユニットの実行コマンドを1つずつ検証して録画予約の状況を確認することなく、各ユニットのSAからSA DescriptorのSA Eventの一部を読み出すだけで、既に確定している録画予約の情報を得ることができる。

【0042】

次に、このネットワークシステムのSA Event ID設定処理について、図4のフローチャートを参照して説明する。この処理は、ユーザがIRD1に対して、DVCR3を用いる録画予約の操作を入力し、その操作がコントローラ11に検知され、上述した競合ユニット検索処理が実行されて、その録画予約が認められた後、開始される。ステップS11において、コントローラ11は、ネットワーク内（または関連するユニット内）において、その予約情報を一意に識別できる仮IDを発生する。

【0043】

ステップS12において、コントローラ12は、ネットワーク内のユニット（または関連するユニット）のSA Eventを読み出して、その中のSA Event IDを抽出する。ステップS13において、コントローラ11は、ステップS11で発生した仮IDと、ステップS12で抽出したSA Event IDが一致するか否かを判定し、一致しないと判定するまで、ステップS11乃至S13の処理を繰り返す。

【0044】

仮IDとステップS12で抽出したSA Event IDが一致しないと判定された場合、ステップS14において、コントローラ11は、ネットワーク内のユニット（または関連するユニット）の全てのSA Eventを読み出したか否かを判定し、全てのSA Eventを読み出したと判定するまで、ステップS12乃至S14の処理を繰り返す。全てのSA Eventを読み出したと判定された場合、ステップS15において、コントローラ11は、ステップS11で発生した仮IDをSA Event IDとしてSA14のSA Descriptorに記録する。

【0045】

図5は、IRD1がサブユニットであるSA14を持たず、その代わりにSAコント

ローラ 41 を持つ構成を示している。この SA コントローラ 41 は、SA Descriptor を記憶することはできないが、他のユニットの SA が記憶する SA Descriptor を参照する、例えば、AV/C の Read Descriptor や Write Descriptor に相当する機能を有している。

【0046】

このように、録画予約に対して、ネットワーク内（または関連するユニット）において一意に識別できる ID を付与することで、ネットワーク内（または関連するユニット）において、任意の録画予約を指定して、変更や削除等の処理を容易に行うことができる。

【0047】

なお、上記各処理を行うコンピュータプログラムは、磁気ディスク、CD-ROM 等の情報記録媒体よりなる提供媒体のほか、インターネット、デジタル衛星などのネットワーク提供媒体を介してユーザに提供することができる。

【0048】

【発明の効果】

以上のように、請求項 1 に記載の情報処理装置、請求項 5 に記載の情報処理方法、および請求項 6 に記載の提供媒体によれば、他の情報処理装置がユニットを制御するイベントの情報と入力されたイベントの情報との比較結果に対応して、入力されたイベントの情報を自己のスケジュールアクションサブユニットの所定の位置に記録するようにしたので、録画予約時の操作性を向上させるとともに、ダブルブッキングの発生を抑止することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明を適用したネットワークシステムの構成例を示すブロック図である。

【図 2】

SA Descriptor のディレクトリ構造を説明する図である。

【図 3】

図 1 のコントローラ 11 の競合ユニット検索処理を説明するフローチャートである。

【図4】

図1のコントローラ11のSA Event ID設定処理を説明するフローチャートである。

【図5】

本発明を適用したネットワークシステムの他の構成例を示すブロック図である。

【図6】

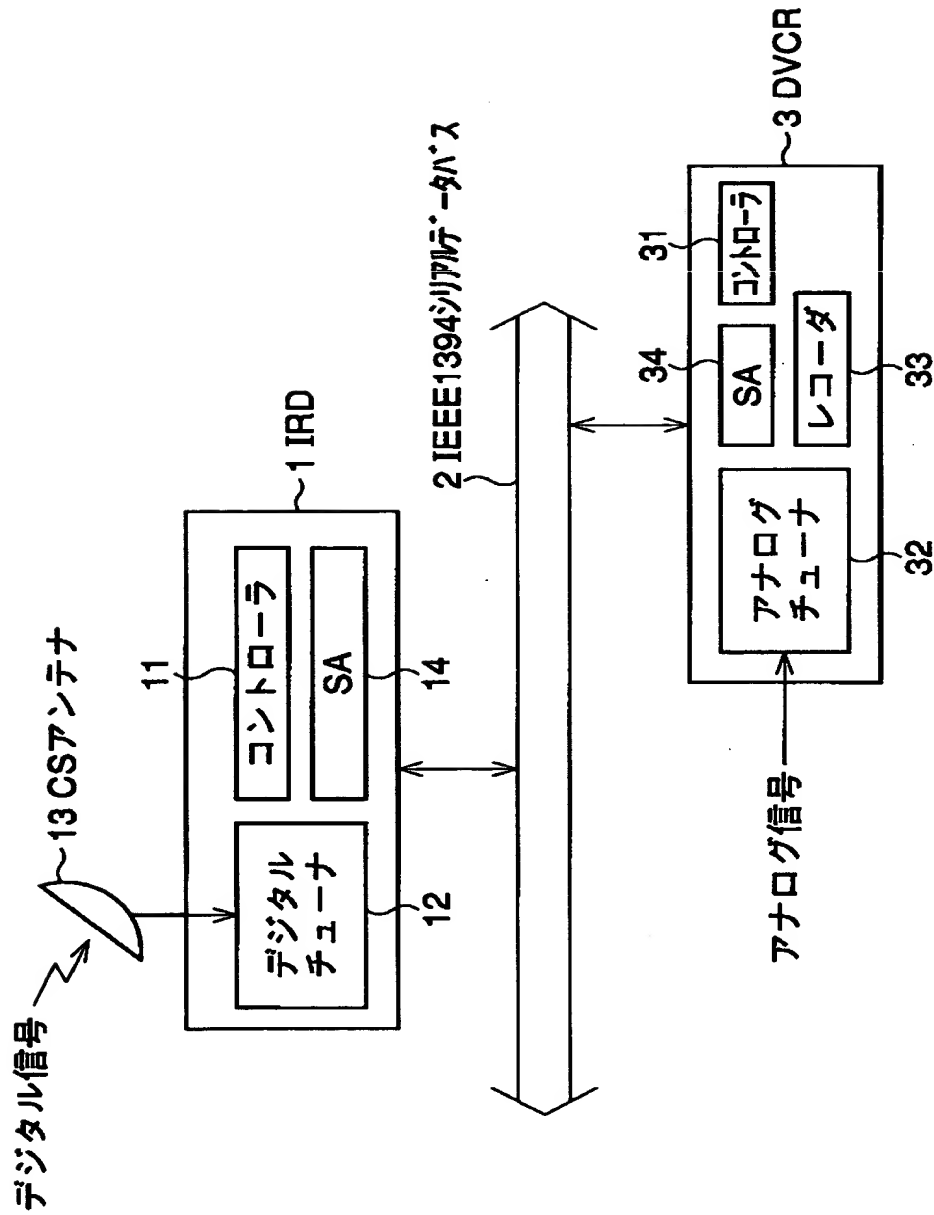
従来のIEEE1394シリアルデータバスネットワークの構成を示すブロック図である。

【符号の説明】

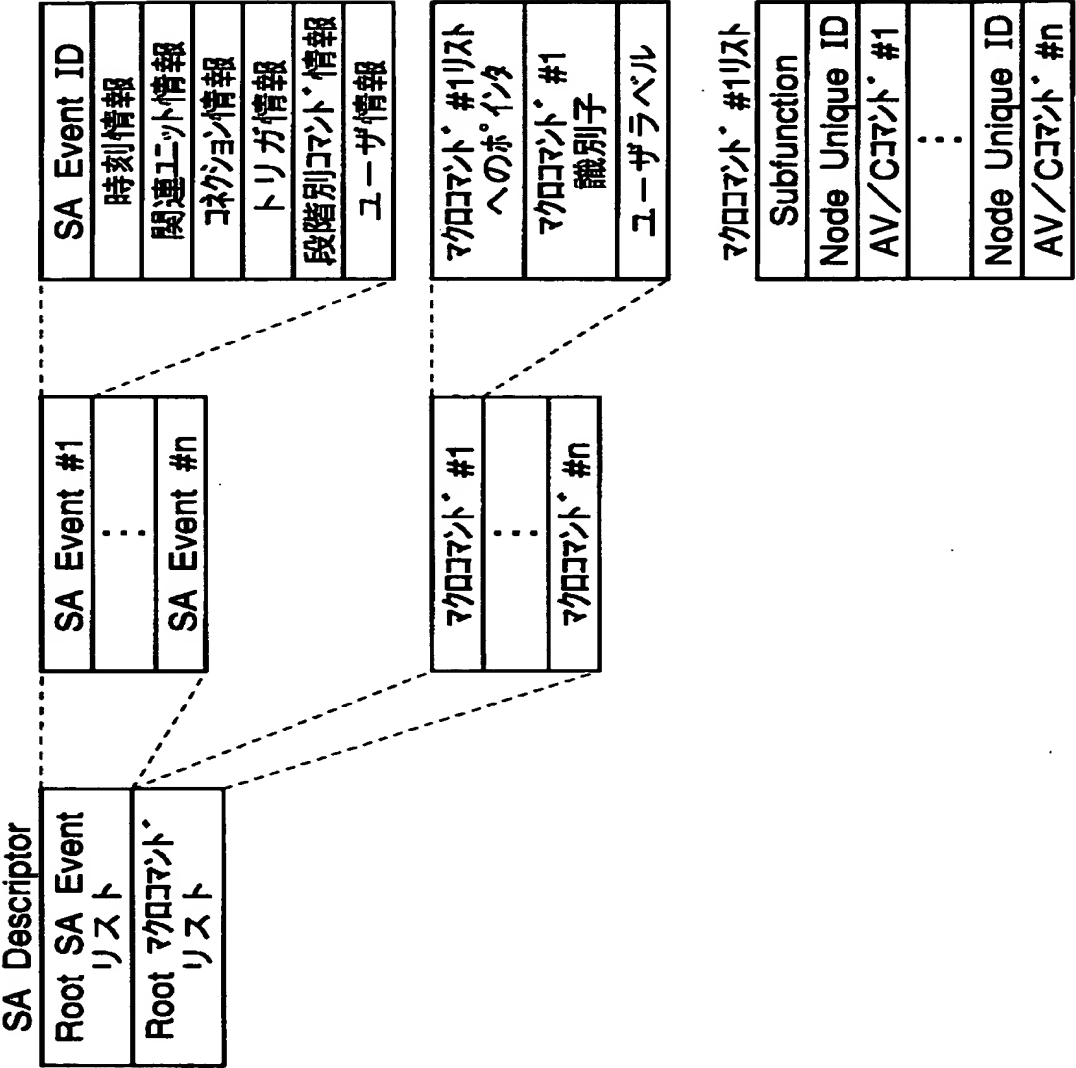
1 IRD, 2 IEEE1394シリアルデータバス, 3 DVCR, 11 コントローラ, 12 デジタルチューナ, 14 スケジュールアクション, 31 コントローラ, 32 アナログチューナ, 33 レコーダ, 34 スケジュールアクション, 41 スケジュールアクションコントローラ

【書類名】 図面

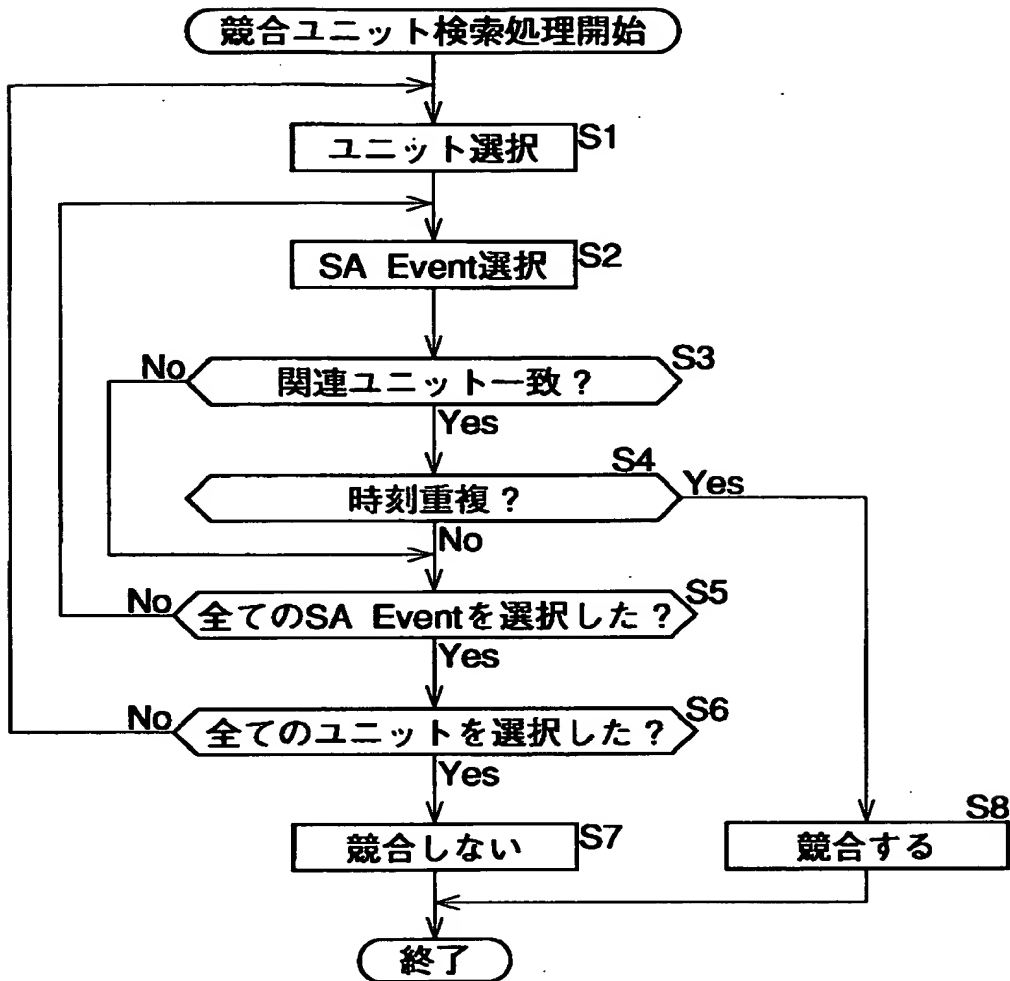
【図 1】



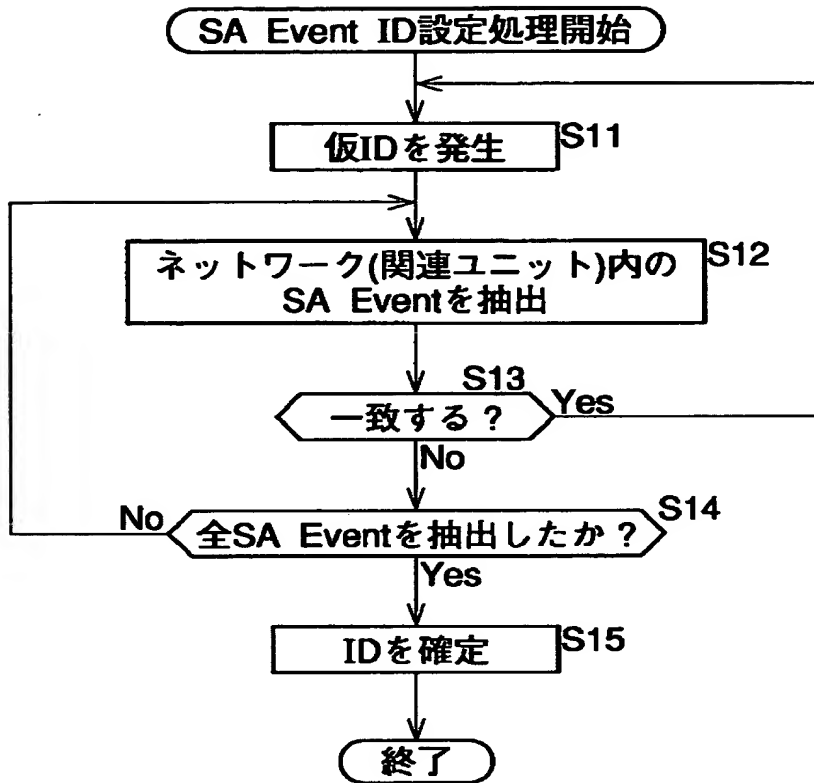
【図 2】



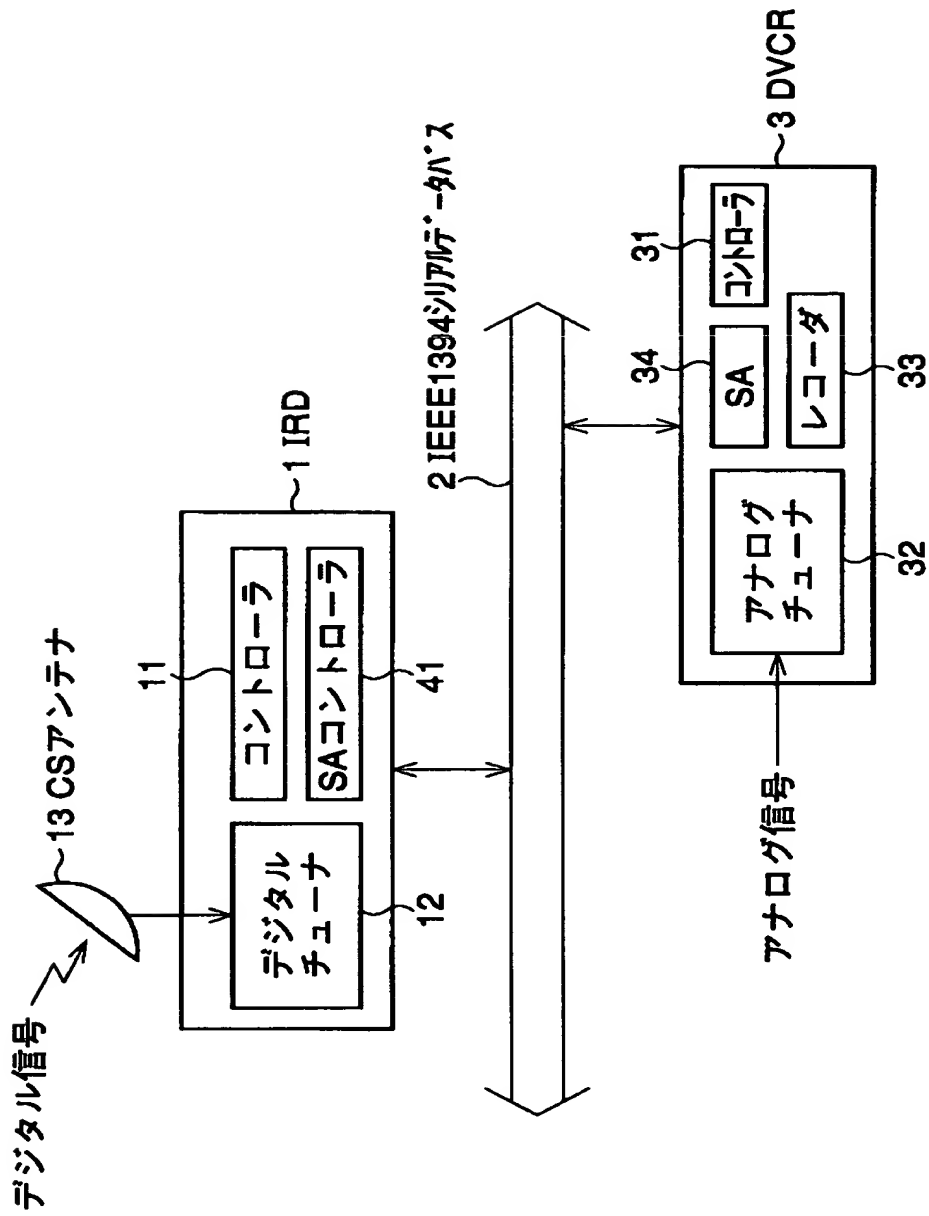
【図 3】



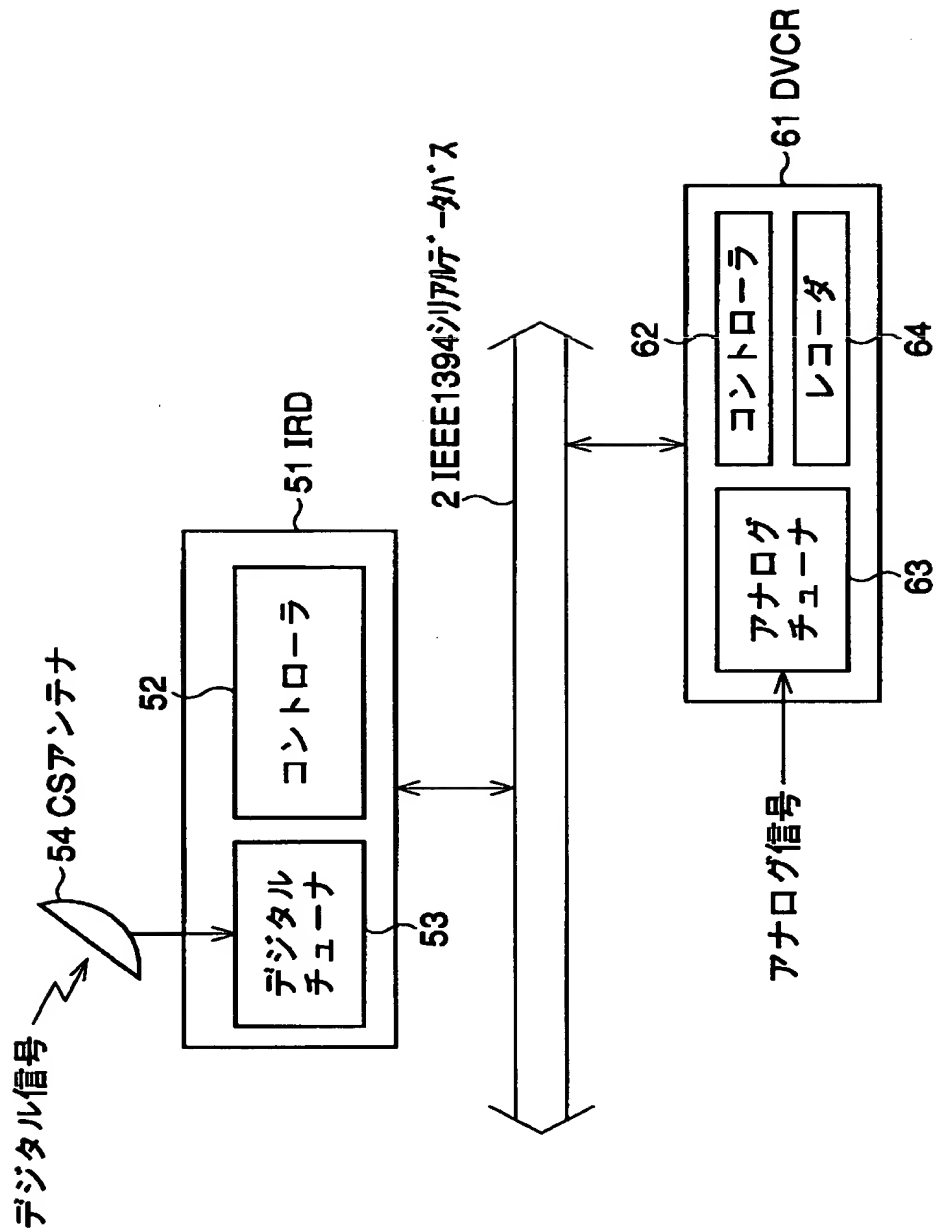
【図 4】



【図 5】



【図6】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ダブルブッキングの発生を抑止する。

【解決手段】 ステップS2において、IRDのコントローラは、ステップS1で選択したユニットのSAが記憶しているSA DescriptorのRoot SA Eventリストから予約情報(SA Event)を1つだけ選択して読み出す。ステップS3において、コントローラは、ステップS2で読み出したSA Eventの関連ユニット情報を参照し、そこに記述されているNode Unique ID、SubunitType、およびSubunit IDがDVCR 3に対応するものであるか否かを判定する。ステップS4において、コントローラは、ステップS2で読み出したSA Eventの時刻情報を参照し、そこに記述されている録画時刻が、ユーザから入力された録画予約の時刻と重複するか否かを判定する。ステップS7において、コントローラは、入力された録画予約が競合しない(ダブルブッキングとはならない)と判断して、入力された録画予約の情報をSAに記憶させる。

【選択図】 図3

【書類名】 職権訂正データ
【訂正書類】 特許願

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】 000002185

【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号

【氏名又は名称】 ソニー株式会社

【代理人】 申請人

【識別番号】 100082131

【住所又は居所】 東京都新宿区西新宿7丁目5番8号 GOWA西新宿ビル6F 稲本国際特許事務所

【氏名又は名称】 稲本 義雄

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000002185]

1. 変更年月日 1990年 8月30日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都品川区北品川6丁目7番35号

氏 名 ソニー株式会社